

社会民主主義 フォーラム青森 通信

NO.37 2024年 7月20日
フォーラム青森
〒030-0802
青森市本町3丁目3番11号
青森県平和労組会議気付
forum-ao2021@outlook.jp
080-5413-2848 (事務所専用 TEL)

第3回政治学習会を開催 現実的な政権交代のために！

社民フォーラム青森は、7月7日ハートピアアローフクを会場に、約70名の参加者が集まり第3回政治学習会を開催しました。今回は辻元清美参議院議員をお招きして講演と意見交換を行いました。辻元議員は皆さま方ご存じのとおり社民党から民主党などを経て現在立憲民主党の代表代行として活躍されています。国会では野党の論客として注目を集め、特に「ソーリ」が多くの国民の記憶に残っていると思いますが、その鋭い質問は感心させられます。はじめに、藤田代表のあいさつを受け、続いて衆議院選挙予定候補一区升田氏、三区岡田氏から決意の一端が述べられ、講演に入りました。



講演する辻元参議院議員

辻元議員は、講演の冒頭で前日まで闘われた東京都知事選に触れ、自身が蓮舫候補と連日二人三脚で走り回ったこと。自公は裏金問題があり応援演説には顔を見せず、ひたすらステルスとなって小池候補の支援に全力支援したと指摘。この小池都政は大規模な政治とカネの問題が指摘される中であり、特に神宮外苑の再開発問題、臨海晴海フラッグのオリンピック村マンション売却問題などを指摘して運動してきたこと。また、今の世襲政治家が、一部の財界との堅い結びつきで政治を牛耳って、歴代同様の政治を行い、その結果中小企業、商店街は疲弊しきっている。そして、アメリカとの約束で勝手に防衛費倍増(43兆円)を打ち出し、農水予算などは減額。しかし、いくら防衛費を増強しても食料輸入大国の日本が輸入航路を封鎖されたら国民生活を維持できないことは明白。今後、大増税が待ち受けているとマスコミでも指摘。岸田総理を揶揄し増税メガネ、定額減税還付を給与明細に記載義務付けで、恩着せメガネなどと言われている。このように裏金問題の不満と怒

りが渦巻く中で先行われた国政選挙の補選では、保守王国の島根一区で立憲の亀井候補が勝利したことは意義深い。

しかし、このような状況でも岸田総理は憲法改正に前のめりになっている。私は、自民党の中谷筆頭理事に審査会の開催は、裏金疑惑を解明してからでなければ開催を認めないとくぎを刺してきた。

みなさん、9月に自民党総裁選があります。種々のツールを使い岸田総裁の再選応援をして下さい。解散総選挙は、遅くとも来年、早ければ今年10月下旬にも想定されています。岸田総裁のままのほがが、政権交代が現実的になりますから…。

その後、参加者からの質問意見を受け、さらに自治体議員との意見交換を帰京便ぎりぎりまで行い、帰路に就きました。

(事務局長・原子秀夫)

訃報



赤平泰衛弘前市議会議員が7月14日、逝去しました。64歳。通夜は20日午後6時から、葬儀は21日正午から。弘前市泉野3丁目の公益フォレストホールにて。

1982年に平賀病院の臨床検査技師となり、2007年から同市職員として勤務。同市職員労働組合執行委員長など要職を歴任し、2019年から自治労県本部中央執行委員長を務めた。2023年4月の弘前市議選に立憲民主党公認で出馬し、初当選。現在1期目で会派・弘前さくら未来、総務常任委員会に所属。立民県連幹事を務めていました。

また、今年、県原水禁の事務局長に就任したばかりでした。



赤平さんの急逝、こころよりお悔やみ申し上げます。早すぎます。残念です。安らかに眠りください。合掌。

今号は1面のみの編集とします。

(編集部・佐藤)